



© JUN HAMAMOTO

企画監修：NHK文化センター東京支社 濱本純先生と行く ワイン・ツーリズムの聖地 ナパヴァレー・ワイナリーツアー ナパヴァレー・サンフランシスコ7日間

＊旅行期間：2023年6月24日(土)～6月30日(金) 5泊7日間

＊旅行代金：お1人様 858,000円(会員・一般)



《講師 濱本純先生プロフィール》

学習院大学卒業後、大手広告代理店に30年間勤務。ワインカントリー・カリフォルニアに魅せられて2003年に早期退職し、ナパヴァレーにオフィスを構える。ナパヴァレーとソノマの「ワイン・食・ライフスタイル」のスペシャリストとして、作家・エッセイスト、写真、マーケティング、取材コーディネイト、ワイン輸入(NAPA OFFICE.US)など多方面で活躍。米国人気No.1ともいわれるナパヴァレーのレストランThe French Laundryの雑誌『FINESSE』創刊号への寄稿を始め、映画『サイドウェイ』(20世紀Fox & フジTV)の撮影にもナパヴァレー・アドバイザーとして参加。「ワイン・ツーリズム」という概念が未だ日本に無い中、「ワイナリー・リゾート」という言葉で最初に定着させた立役者の一人でもある。現在もナパヴァレーのオフィスと東京と行き来する生活を送る。著書には『ナパヴァレーのワイン休日』(樹立社刊)、『ソノマのワイン休日』(世界文化社刊)、そして2020年には第三弾『ナパヴァレー完全ガイド』(世界文化社刊)を出版。2021年10月からはNHK文化センターのオンライン講座で、『ワイン・ツーリズムの聖地 ナパヴァレーの魅力』、『カリフォルニア・ワイン発祥の地 ソノマのワイン・ツーリズムの魅力』を実施中。

*****旅のお勧め*****

世界規模のコロナというパンデミックにより、私たちのライフ・スタイルは一変しました。仕事のあり方、友人との付き合い、そして旅については言うまでもありません。しかし旅とは、人間にとっての単なる楽しみだけではなく、見識を広げ次なる人生のチャレンジへの糸口を作ってくれるものと私は信じています。

そこでこのタイミングだからこそ是非お勧めしたい旅が、NHK文化センターの企画&監修による当ツアーです。

東京から飛行機で8時間余をひとつ飛びするとそこはアメリカ西海岸、燦々と輝く太陽と限りなく広がる青空の下、澄んだ空気の雄大な大地に葡萄樹の畝打つワイン・カントリーが待っています。そしてこれらを背景にワインと美食を楽しみ、その歴史のウンチクを聴きながら迎える旅。これは今の私たちにとっては、精神的にもサイトのにもピッタリの旅ではありませんでしょうか？

更にトレンド性からも、このワイン・ツーリズムと呼ばれる旅のあり方は、今世界中の大人とセレブが好むもので、この「ワイン・ツーリズムの聖地」とも呼ばれるナパヴァレーにはビジネスのヒントも沢山眠っているはずです。

とはいえこの雄大でリザーヴされたエリアへのアクセスと行動には、タクシーやバス等の日本で慣れ親しんだ交通環境は望めません。また自身での運転には地理感と飲酒という問題が立ちばかり、初めてこの地を訪れるには適度な規模の団体行動が適切と考えます。他方、現地のワイナリーやレストラン等は団体客をあまり好まないというジレンマもあります。

これら相反する条件をクリアしたのがこのツアーの素晴らしさといえるでしょう。

これまで日本では催行が難しいとされた「ナパヴァレー団体ツアー」を、不詳私ことこの地のスペシャリストがお供させていただきます。

濱本 純

	日時	★行程表★	食事
1	6/24 (土)	成田空港集合(午後) NH008便 成田17:00ーサンフランシスコ10:35 全日空直行便にて一路 サンフランシスコへ 着後、専用車にてサンフランシスコ市内観光へご案内(フィッシャーマンズワーフ・ゴールデンブリッジ等) 【ヒルトンサンフランシスコホテル クラス泊】	機内 各々 夕食
2	6/25 (日)	専用車にてワインツーリズムの聖地:ナパヴァレーへ<片道 約1時間30分> 午前:『Artesa Vineyards & Winery (アルテサワイナリー)』訪問 昼頃:西部開拓史の雰囲気が残る町CALISTOGA(カリストガ)で自由ランチ& 散策・買物等 午後:『Chateau Montelena Winery (シャトーモンテレナワイナリー)』訪問 ナパ市内にて夕食及び散策 その後ホテルへ 【ダブルツリーバイヒルトンナパヴァレーホテル クラス泊】	朝食 各々 夕食
3	6/26 (月)	午前:お洒落な町St.Helena(セントヘレナ)散策 昼頃:『Beringer Winery (ベリンジャーワイナリー)』訪問 昼食 午後:『Frog's Leap Winery (フロックスリーブワイナリー)』訪問 ワインツーリズムを凝縮した町YOUNTVILLE(ヨントヴィルル)散策 ナパプレミアムアウトレットにてショッピング ナパ市内にて夕食 【ダブルツリーバイヒルトンナパヴァレーホテル クラス泊】	朝食 昼食 夕食
4	6/27 (火)	午前:ナパ市内 ファーマーズマーケット 及び ダウンタウン散策 昼頃:『Kenzo Estate Winery (ケンゾーワイナリー)』訪問 Oakville Grocery(オークビルグロッサリー)にて各自昼食 & 買い物 午後:『Raymond Vineyards (レイモンド)』訪問 ワインメーカー体験(自分のワインをブレンド出来ます) ベルエアプラザにてショッピング 【ダブルツリーバイヒルトンナパヴァレーホテル クラス泊】	朝食 各々 各自
5	6/28 (水)	午前:『Opus One Winery (オーパスワンワイナリー)』訪問 昼頃:ソノマプラザでメキシコ軍兵舎跡等視察 各自ランチ& 散策・買物 その後ヴァレーホ港へ フェリーにてサンフランシスコ港へ(約60分 途中ゴールデンゲートブリッジやカトマンズ島など眺望) フェリープラザ自由散策 その後ホテルチェックイン 夕食 【ヒルトンサンフランシスコホテル クラス泊】	朝食 各々 夕食
6	6/29 (木)	朝:専用バスにてサンフランシスコ空港へ 空港にてチェックイン NH007便 サンフランシスコ12:20発 全日空直行便にて帰国の途へ 【機中】	朝食 機内
7	6/30 (金)	成田空港15:25着 成田空港にて通関 解散 *****お疲れ様でした*****	機内

※上記日程は今後のコロナ状況・現地事情・交通事情等により変更になる場合もございます。航空便の発着時間も変わる場合もございます。

募集要項

- 旅行期間 : 2023年6月24日(土)~6月30日(金) 5泊7日間
- 発着地 : 成田空港発着 *地方よりご参加の場合はお気軽にご相談ください。
- 旅行代金 : お一人様 858,000円(会員・一般)
- ※旅行代金には成田空港施設使用料、現地空港税、燃油特別付加運賃、航空保険料、国際観光旅客税は含まれておりません。
(2022年12月時点の参考価格=合計112,000円)
- なお、この金額は航空券発券時の為替レート、燃油価格により変動します。この料金は最終のご請求書にて一括請求させていただきますので予めご了承下さい。
- 最少催行人員 : 15名様
- 募集締切 : 2023年5月8日(月曜日)
但し、個室希望が多く確保済みの部屋が満室になり次第締め切らせて頂きます。また、お一人様でご参加の場合、相部屋が確保出来ない時には個室追加料金をご請求させていただきます。予めご了承下さい。
- 添乗員 : 成田国際空港より帰国まで1名同行致します。
- 利用航空会社 : 全日空(NH)予定
*ビジネスクラスをご希望の場合はお見積りしますので、お問合せください。
- 食事:朝食5回、昼食1回、夕食4回 *機内食を除く
- 利用予定ホテル : 各都市 日程表記載のホテルクラス(デラックスクラス) 2名1部屋利用
- 個室追加料金 : 110,000円(5泊分)
- 申し込み方法 : 申込書をご記入いただき、(株)日放ツーリストへFAXか郵送かメールにてお送りください。
*米国の渡航には、帰国日(6/30)まで有効な旅券(パスポート)が必要です。お持ちでない場合は旅券申請手続きをお願いいたします。

【申込先/お問合せ】TEL03-3481-7666 FAX03-3481-7664 担当:菅原 仁



ワイナリー

濱本先生のお話や解説を交えながらのナパヴァレーのワイナリー巡り。濱本先生が厳選した定評ある7箇所のワイナリーをご案内いたします。

Artesa Vineyards & Winery (アルテサワイナリー)



スペインのアンダルシア地方のCava(スパークリング・ワイン)の会社CODRNIUが1997年創立したワイナリー。ワイン醸造と自然環境との融合を目指した建築と構造は、まるで現代美術館のよう。ロス・カルネロスAVAからサンパブロ湾を一望できるテラスでツアー・スタートに乾杯!

Chateau Montelena Winery (シャトーモンテレナワイナリー)



1976年のパリテイストリングで白ワイン部門の第1位を飾った事で有名な、優美なシャトー建築のワイナリー。仏シャトー・ラフィットを夢見たAlfred L. Tubbsに1882年に創業されたが、その夢はJim Barrettによって実現された。そのほぼ100年間の夢が一杯詰まったワイナリー。

Beringer Vineyards (ベリンジャーヴィンヤーズ)



1876年にドイツ人のベリンジャー兄弟により創業された。ワインの品のみならず、そのRhine Houseは歴史的建造物として威厳を保っている。また当時ワイナリー前の29号線で通行人にワインを販売する時、木陰にと植樹された楡の木は、今ではナパヴァレーの名物並木道。

Frog's Leap Winery (フロックスリーブワイナリー)



自然派のワイナリーであることは、その畑を一目見るとオーガニック農法であることが理解でき、心も癒される。ワインも骨太さや重さを目指すよりも、酸味とのバランスに力点を置いた美味しさ。Re-making映画「Sideways」のロケ地でも使用されました。

Kenzo Estate Winery (ケンゾーエステイトワイナリー)



オーナーは日本のゲームソフト会社カプコンの辻本憲三会長。著名な畑造り師に仰いで葡萄畑を一から耕し直し、また一流の女性ワインメーカーであるハイディ・バレットにワインづくりを委ねるワイナリー。エステイト・ワインを名乗るごとく、使用する葡萄は全て自社畑からの物。

Opus One Winery (オーパスワンワイナリー)



日本ではナパヴァレー・ワインの代名詞ともされるOpus One、交響曲の『第一楽章』を意味する。ラベルに印された肖像画のごとく、仏メドックの雄シャトー・ムートン・ロートシルトのバロン・フィリップ・ロートシルトと、ナパヴァレーを代表するロバート・モンダヴィとの合弁ワイナリー。

Raymond Vineyards(レイモンドヴィンヤーズ)



レイモンドでは葡萄をバイオダイナミック農法で育てつつ、その農法を分かり易くする説明する野外シアター。またナパヴァレー各地の土壌もサンプルで説明。ユニークな醸造現場、自らが一日ワインメーカーとしてワインをブレンドし、自身のオリジナル・ラベルをボトルに付着して持ち帰る。とても美味しく・楽しく・有意義なワイナリー体験。

その他の見どころ

ナパヴァレーはワイナリー以外にも魅力満載の見どころがたくさんあります。

Oakville Grocery



アメリカ西海岸で最も古く、1881年から営業を続けている食品店。ここで買い物と各自ランチ、それにワイン・ミュージアムも見学できます。

YOUNTVILLEの町



ヨントヴィルルはワインツーリズムの要素を凝縮したような魅力的な町です。

St.Helenaの町



人気の瀟洒な町。石鹸の製造直売店Napa Soap、人気パン店ModelBakery、ハンバーガーの名店Gott's等も見逃せません。

Napa(ナパ市)

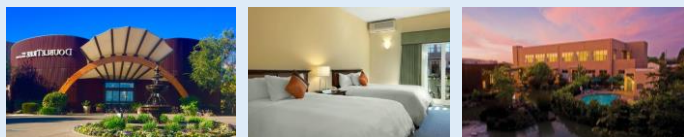


火曜の朝にはファーマーズマーケットが開催されます。街の散歩を兼ねての自由時間とお買い物。ブランド物のアウトレットもお楽しみいただけます。

ホテル

ナパヴァレー、サンフランシスコ共に、便利で快適なホテルをご用意しています。ナパでは3連泊なので便利です。

DoubleTree by Hilton Hotel & Spa Napa Valley



Hilton San Francisco Union Square Hotel

